

灘区計画 原案(案)

～豊かな自然と笑顔あふれる 住み続けたいまち～

平成 22 年 11 月

灘区

「灘区計画」とは

- 灘区計画は、区民の皆さんと灘区役所などが2025年（平成37年）を目指した区の将来像と2015年度（平成27年度）までの区のまちづくりの目標を共有し、協働で取り組むための計画です。
- 策定にあたっては、区民の皆さんや地域団体等のご意見をお聞きしながら、灘区民まちづくり会議が中心となって、取りまとめを行いました。
- 区の個性や特性を活かして、区民の生活に密着した分野を中心に、重点的に取り組むことをまとめています。
- 全市的な視点で取りまとめている「神戸づくりの指針」「神戸2015ビジョン」とともに、神戸市の基本計画として相互に連携しながら、一体的に取り組みを進めていきます。
- 目標年次 2015年度（平成27年度）

も く じ

I. 灘区の現状と課題 (データで見る灘区、アンケートに見る区民の関心)	2
II. 2025年の灘区の将来像とその実現に向けて	4
III. 重点的に取り組むテーマと施策	5
1. 「つながり」 ふれあいで人と人がつながるまちづくり	6
2. 「あんしん」 安全・安心に暮らせるまちづくり	10
3. 「思いやり」 生活マナーを守る気持ちよく暮らせるまちづくり	14
4. 「はぐくみ」 子ども達を健やかにはぐくむまちづくり	18
5. 「やさしさ」 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	22
6. 「やすらぎ」 豊かな自然と歴史・文化を生かしたまちづくり	26
7. 「にぎわい」 にぎわいと活力のあるまちづくり	30
IV. 実現に向けて(進捗状況の検証)	34
V. 数値目標について	34
VI. 参考(検討経緯)	35

I. 灘区の現状と課題

(1) データで見る灘区

①人口・世帯構成人数

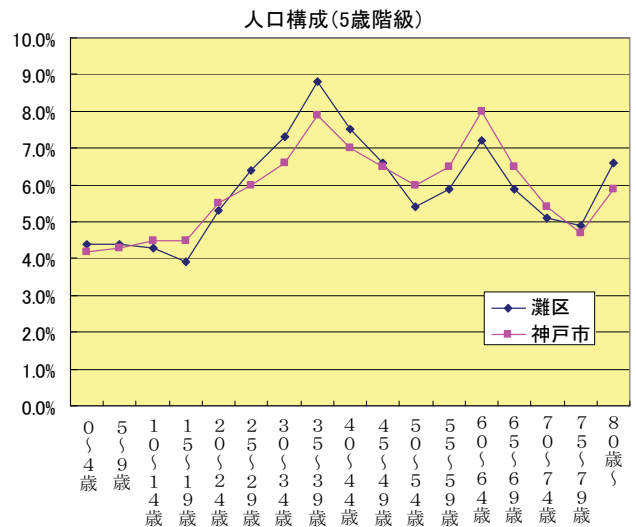
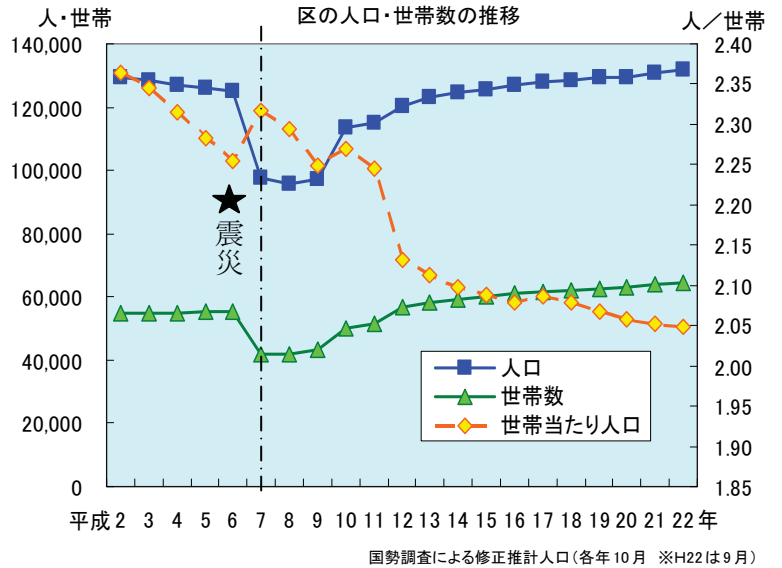
- ・灘区の人口は、平成 21 年に 13 万人を超えました。ここ数年は毎年 500～600 人ずつ増加しています。

〔 国立社会保障・人口問題研究所による
灘区の推計人口は、2025 年まで増加
が予測されています。 〕

- ・世帯構成人数は、小家族化がさらに進んでいます。
(平成 22 年：2.05 人／世帯)

②人口構成・昼夜間人口

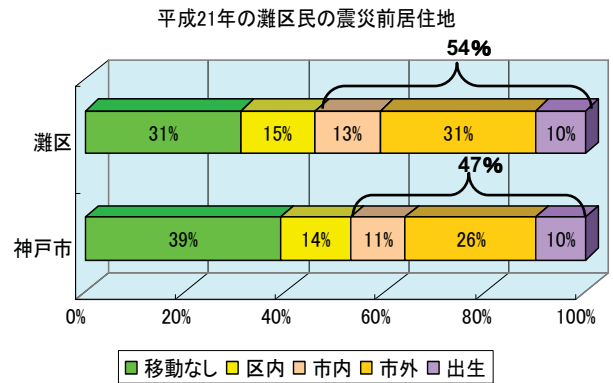
- ・人口構成として、25～44 歳が全市平均より多くなっています。
- ・平成 17 年に昼間人口より夜間人口が多くなりました。(昼夜間人口比率：98.4)



H22.10 住民基本台帳

③震災後の区民

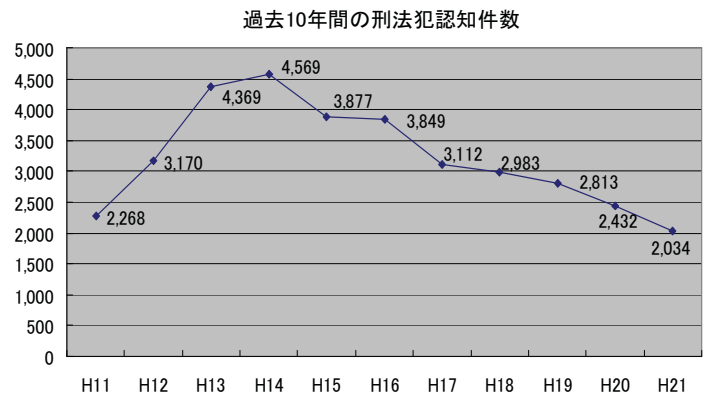
- ・新築マンションの増加などに伴う市外や市内他区からの転入や出生により、震災後に新たに区民になった人は、5割を超えています。
- ・新たに転入された人を含むコミュニティづくりが課題となっています。



資料：国勢調査、推計人口

④刑法犯認知件数

- ・刑法犯認知件数は、減少傾向にあります。が、車上ねらい・オートバイ盗・自転車盗などが多い傾向にあります。
- ・防犯に対する地域での一層の取り組みが必要となっています。

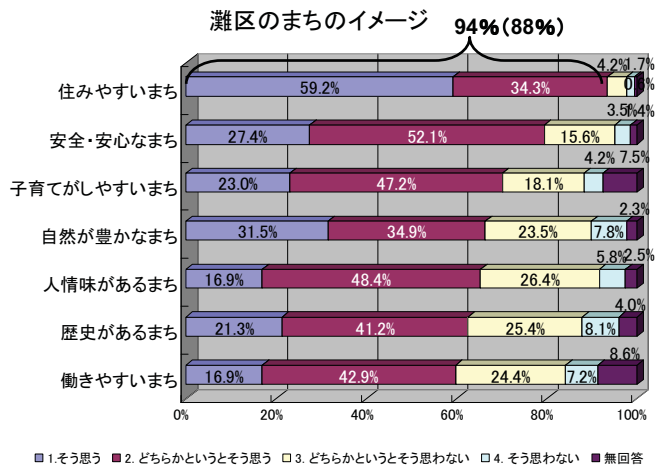


兵庫県灘警察署提供データ

(2) アンケート (H21年1月実施) に見る区民の関心

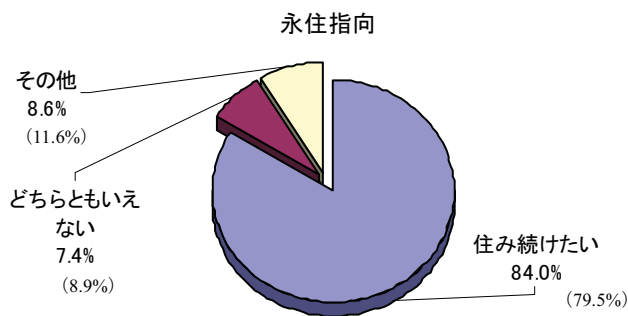
① 灘区のまちのイメージ: 住みやすいまち

- ・灘区のまちのイメージについては、「住みやすいまち」というイメージが強く、前回調査(平成16年度)より6ポイントアップし、94%となっています。
- ・その他「安全・安心なまち」、「子育てがしやすいまち」、「自然が豊かなまち」というイメージの順になっています。



(括弧内は H16 年調査結果)

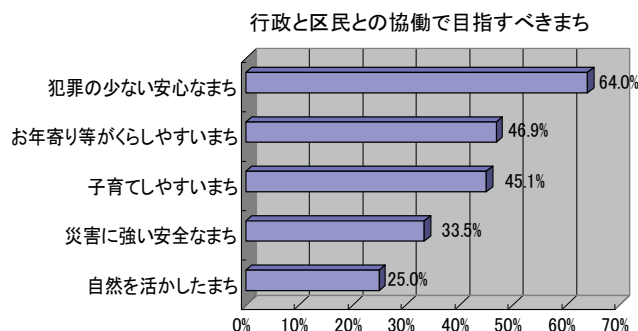
- ・永住指向は、前回調査(平成16年度)より5ポイントアップし、84%となっています。居住地として高い評価を得ています。



(括弧内は H16 年調査結果)

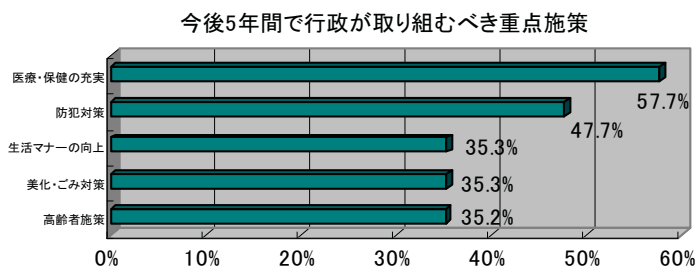
② 行政と区民との協働で目指すべきまち

- ・「犯罪の少ない安心なまち」が最も多く、「お年寄り等がくらしやすいまち」、「子育てしやすいまち」と続いています。



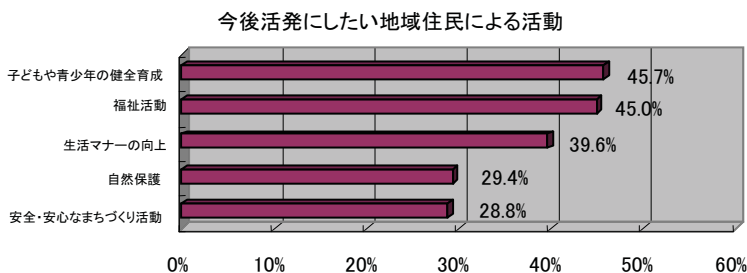
③ 今後5年間で行政が取り組むべき重点施策

- ・「医療・保健の充実」や「防犯対策」に対する期待が高くなっています。



④ 今後活発にしたい地域住民による活動

- ・「子どもや青少年の健全育成」や「高齢者や障害者の生活を支える福祉活動」が多く、「生活マナーの向上」と続いています。



⑤ 伸ばしていくべき魅力資源

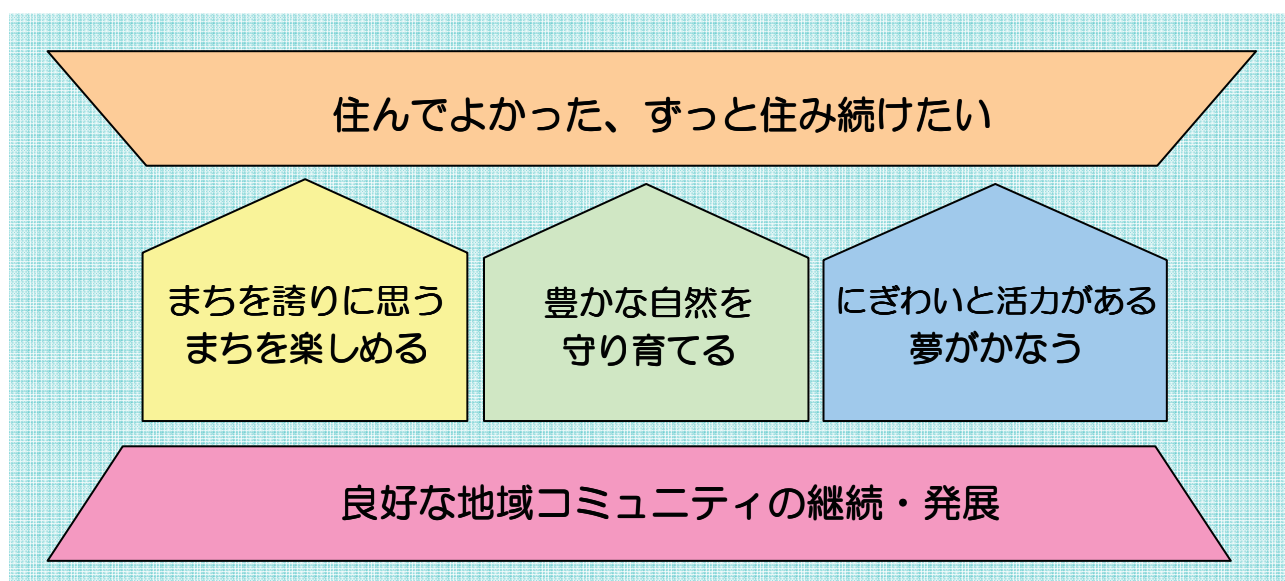
- ・「六甲山・摩耶山の自然」(70%)が圧倒的に多く、「桜の名所」(36%)、「文化施設」(34%)と続いています。

Ⅱ.2025年の灘区の将来像とその実現に向けて

＝2025年の灘区の将来像＝

豊かな自然と笑顔あふれる 住み続けたいまち

灘区のシンボルである六甲・摩耶の山々や都賀川などの豊かな自然を守り育てるとともに、灘区の自慢である良好な地域コミュニティを継続・発展させ、にぎわいと活力のある「住み続けたいまち」を目指します。



将来像の実現に向けて

＝灘区計画における今後5年間（2011年度～2015年度）の基本指針＝

みんなで創ろう！ 住みよい元気なまち・灘

を今後5年間の基本指針として掲げ、将来像の実現に向けて取り組んでいきます。

地域の人々の良好な結びつきや活発な地域活動は、灘のまちを支える大きな財産です。これを継続・発展させていくとともに、事業者・大学・NPOをはじめ、区域や世代を超えて、「みんな」の力を結集し、すべての人が「住みよい元気なまち」を創ります。

Ⅲ. 重点的に取り組むテーマと施策

■基本指針を実現するため、7つのテーマと16の施策を重点的に取り組みます。

重点テーマ	重点施策
<p>1. 「つながり」</p> <p>ふれあいで 人と人がつながる まちづくり</p>	<p>①人づくりを進め、地域力の持続的発展を図ります ②団体間のネットワークの強化を図ります ③多様なまちづくりの担い手づくりを進めます</p>
<p>2. 「あんしん」</p> <p>安全・安心に 暮らせるまちづくり</p>	<p>①地域防犯力・防災力を強化します ②安全で安心な環境づくりを進めます</p>
<p>3. 「思いやり」</p> <p>生活マナーを守る 気持ちよく暮らせる まちづくり</p>	<p>①一人ひとりが生活マナーの向上を図り、住みよいまち、美しいまちをめざします ②環境にやさしいエコのまちをめざします</p>
<p>4. 「はぐくみ」</p> <p>子ども達を健やかに はぐくむまちづくり</p>	<p>①地域における子育て支援を充実します ②青少年の健全育成に努めます</p>
<p>5. 「やさしさ」</p> <p>誰もが健康で いきいきと暮らせる まちづくり</p>	<p>①地域における健康づくりを支援します ②支援を必要とする高齢者や障害者を地域で助け合い、支えあう仕組みづくりを進めます ③すべての人にやさしいユニバーサルデザイン（UD）を推進します</p>
<p>6. 「やすらぎ」</p> <p>豊かな自然と 歴史・文化を生かした まちづくり</p>	<p>①山や川などの豊かな自然を守り育てます ②歴史・文化を生かしたまちの活性化と魅力資源の発信を進めます</p>
<p>7. 「にぎわい」</p> <p>にぎわいと活力のある まちづくり</p>	<p>①各地域の特徴を活かし、にぎわいと活力のあるまちづくりを進めます ○六甲山・摩耶山 ○水道筋商業地域 ○臨海部 ○都賀川 ②地域コミュニティ間の交流促進に努めます</p>

みんなので創るっ！
住みよい元気なまち・灘

1. 「つながり」

- ふれあいで人と人がつながるまちづくり -

<基本認識>

灘区では、多様な地域団体の良好な連携のもと、活発な地域活動が展開されてきました。しかし、多くの地域団体では会員の高齢化が進み、将来にわたり活動を継続するためには、新たな人材の発掘・育成が喫緊の課題となっています。また、複雑多様化する地域課題に対応していくためにも、区民一人ひとりの参画意識の向上を図り、地域活動を一層活発化していく必要があります。

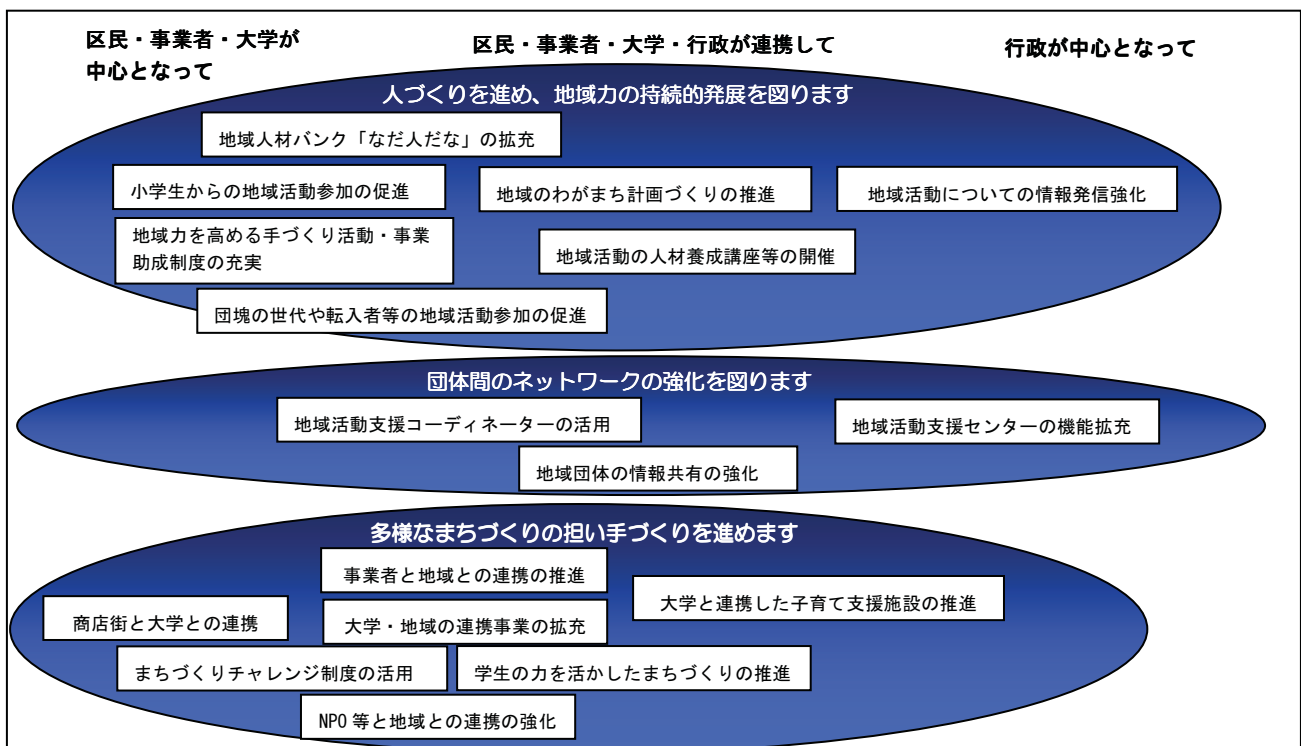
さらに地域力の向上を図るため、地域の一員である事業者や、大学・学生、NPO 等の多様なまちづくりの担い手との連携を強化し取り組んでいく必要があります。

<基本方針>

地域力の持続的な発展を図るため、新たな地域人材の発掘・育成を支援するとともに、区民一人ひとりの参画意識の向上を図り、地域活動への参加者を増やすなど、地域活動の活発化を図ります。また地域団体間の連携がより一層推進されるよう、情報共有の推進や地域の実情に応じた行政の支援を行っていきます。

一方、地域力の向上を図るため、まちづくりの多様な担い手づくりとして、事業者との連携を一層進め、事業者と住民との地域課題等についての情報共有を行うとともに、まちづくり活動に取り組む事業者の拡大を図っていきます。さらに、大学のもつ高度な知識や学生の自由な発想をまちづくりに活かすため、区内の大学との連携事業の一層の充実に取り組むとともに、NPO 等との連携の強化にも取り組んでいきます。

<役割分担>



<重点施策・事業>

■人づくりを進め、地域力の持続的発展を図ります。

●**団塊の世代や転入者等の地域活動参加の促進**

団塊の世代等の退職した人がその技量や経験を地域で生かしたり、新たに区内に転入した人が地域活動に参加したり交流しやすいよう、地域デビューマッチング作戦や一日体験講座等地域活動への参加のきっかけとなるような取組みや情報発信を行います。



イベント会場で地域団体の活動を紹介する「地域デビューマッチングコーナー」

●**地域活動の人材養成講座等の開催**

地域団体の活動の継続や活発化のためには、会員による自立した運営が必要であり、たとえば広報印刷物や資料の作成、経理処理、パソコン操作など、団体の運営に不可欠な知識・技能等についての講座を開催し、地域活動の人材養成を支援します。



ふれあいのまちづくり協議会の委員長を対象とした研修会

●**地域活動についての情報発信強化**

地域団体の紹介や活動状況などについて、引き続き広報紙やホームページ等で情報発信を行います。地域で行われる活動への参加を広く呼びかけ、新たな会員の確保を図ります。

●**地域人材バンク「なだ人だな」の拡充**

区内の様々な技能や知識・経験を有する人材を発掘・登録し、地域活動に貢献してもらう地域人材バンク「なだ人だな」の登録者を増やすとともに、地域での活躍の機会を増やしていきます。高齢者等の生きがいづくりや地域活動開始のきっかけとともに、知識や技能の伝承・発信を行います。



地域イベントで二胡の演奏を披露するなだ人

●**小学生からの地域活動参加の促進**

地域で各団体が取り組んでいる児童との交流事業や学校と連携した学習等により、子どもの地域活動への参加を促進します。ホームページでのイベント情報の掲載等により、子どもや家族に地域行事等への参加を働きかけ、家族全員で地域に目を向け、また家族のきずなを深めるきっかけとなるよう支援します。

●**地域力を高める手づくり活動・事業助成制度の充実**

地域力を高める住民の手づくりの各種活動・事業の初期段階を支援する助成制度の充実を図ることで、地域の自主性を育て、地域活動をはじめの人材を増やしたり、活動の活発化を図ります。



手づくり助成制度を活用した地域イベント

●地域のわがまち計画づくりの推進

地域の課題について考え、その解決に向けての実践的な取り組みにつなげていくため、地域住民と行政との協働と参画による地域の「わがまち計画」を作成します。

■団体間のネットワークの強化を図ります

●地域活動支援センターの機能拡充

地域活動を支援するとともに、相互交流・連携の機会を提供します。センターの更なる利用促進を図るとともに、自主運営化を目指して、利用団体のネットワーク化を進めます。



地域活動支援センターでの情報交換

●地域活動支援コーディネーターの活用

地域の知恵やネットワークを活かして、行政だけではできない企画立案や、事業推進、団体間の調整などの役割を担う地域活動支援コーディネーターの拡充を図り、各団体の支援・連携を強化します。

●地域団体の情報共有の強化

広報紙やホームページ等での地域団体の紹介や活動状況などの情報発信を行うことにより、地域団体間の情報共有を強化し、連携の促進を図ります。

■多様なまちづくりの担い手づくりを進めます

●事業者と地域との連携の推進

地域の一員として、防犯・防災・子育て等のまちづくり活動に取り組む事業者をネットワーク化し、その活動を情報発信することで、事業者によるまちづくり活動のさらなる活発化を図ります。

●大学・地域の連携事業の拡充

大学・地域の連携事業の一層の推進や内容充実のため、地域の課題やニーズと大学の活動をマッチングする仕組みをつくります。また大学と地域との交流を進めるため、定期的な情報交換や、連携事業についての情報発信を行います。



産学連携による商品開発

●商店街と大学との連携

JR六甲道・阪急六甲周辺の商店街の活性化に大学生の柔軟な考えと行動力を取り入れ、地域の活性化に努めます。



神戸大学の学生による「まちのTシャツ遊園地」

●まちづくりチャレンジ制度の活用

大学のゼミやサークルなどによる、地域課題に対する具体的な取り組みに対して事業費を支援することで、大学と地域との連携を推進します。



復興住宅における茶話会（コミュニティ形成支援活動）

●大学と連携した子育て支援施設の推進

大学と連携し子育て中の親子が気軽に立ち寄ることができる「ひろば」を推進します。育児の悩みを専門家に相談したり、親同士の交流の場とするほか、学生の教育経験の場としていきます。



神戸大学による子育て支援施設あいち

●学生の力を活かしたまちづくりの推進

地域・行政は学生にフィールドを提供するとともに、まちづくり活動に学生の力を活かして地域課題の解決をめざします。

【具体的事例】

- ・子育て支援
学生の教育経験の場として、学生が地域の子育て支援活動に参画
- ・空き店舗活用による市場・商店街の活性化
空き店舗の活用法など、学生の若い柔軟な発想による市場・商店街の活性化
- ・まちづくり活動への参画
地域団体が行っている防犯・美化等の各種まちづくり活動に参画
- ・サークル活動等の地域参加
住民交流やまちの活性化のためのイベントの企画や参加、留学生との交流促進



留学生との交流促進イベント

●NPO等と地域との連携の強化

NPO や社会的企業などがそれぞれの強みや個性を活かし、地域団体・事業者・大学等と連携しまちづくりに取り組むことを推進していきます。NPOと地域との連携事例などの情報発信を行い、両者の連携を支援していきます。また新たな公共サービスの担い手となる社会的企業の育成の検討を行います。

2. 「あんしん」

- 安全・安心に暮らせるまちづくり -

<基本認識>

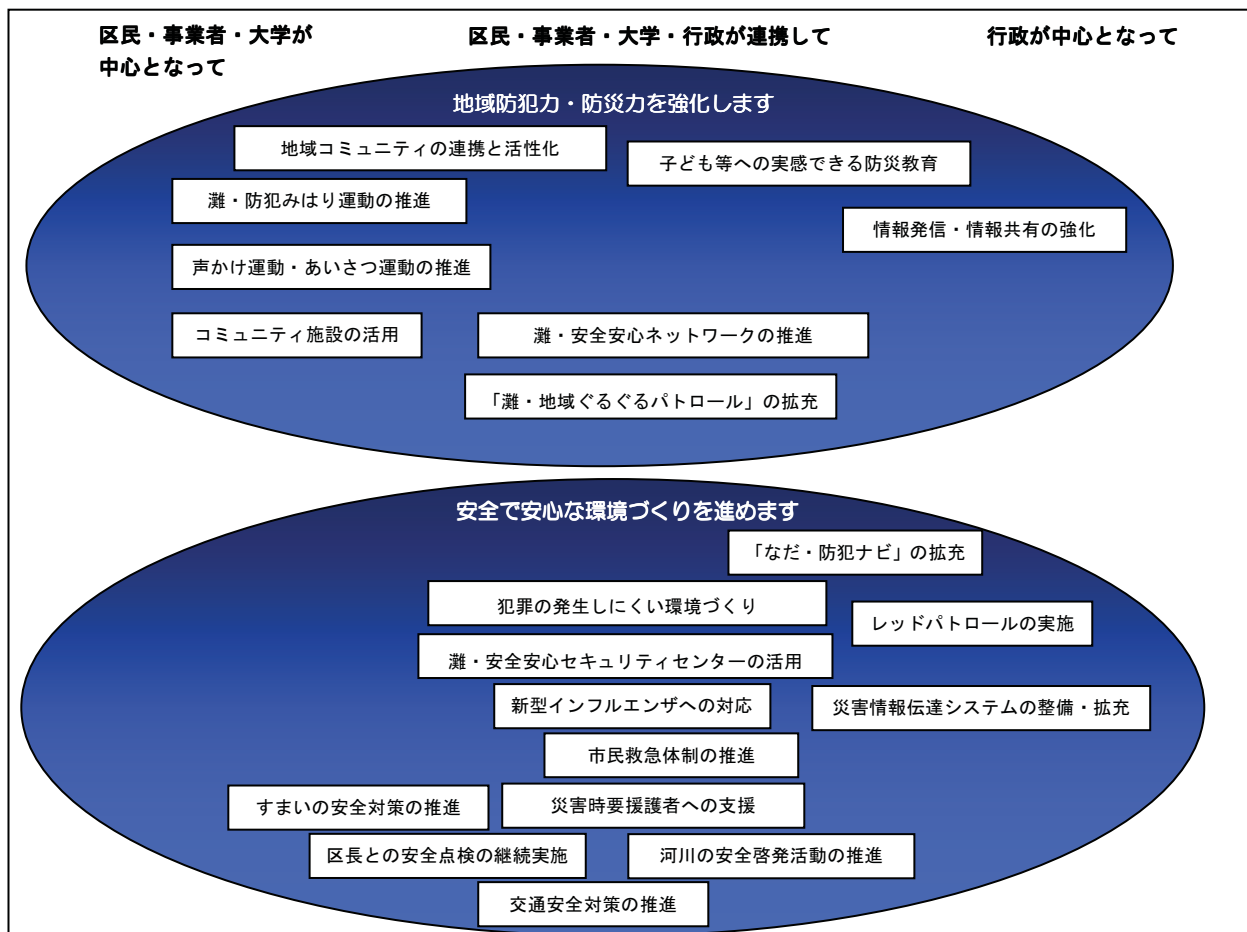
近年、灘区における刑法犯認知件数は減少傾向にありますが、オートバイ・自転車盗などの街頭犯罪は依然として多いほか、振り込め詐欺などの被害も発生しています。また、引き続き火災の防止や増加する子どもや高齢者の交通事故への防止対策が必要とされています。さらに、地震や台風、ゲリラ豪雨といった自然災害だけでなく、新型インフルエンザなどの感染症の発生といった新たな危機が、区民の生活に不安をもたらしています。

安全で安心して暮らせるまちを築くためには、地域と行政の密接な連携と、地域の防災・防犯力の一層の強化が求められています。

<基本方針>

災害等に対して、被害を最小限に抑える「減災」や「自助・共助」の視点を重視し、区民一人ひとりの防災・防犯意識を高めます。さらに、地域と行政が一体となった地域防災力や地域防犯力、また新たな危機への対応力の強化に努めることにより、安全・安心なまちを目指します。

<役割分担>



<重点施策・事業>

■地域防犯力・防災力を強化します

●地域コミュニティの連携と活性化

防災福祉コミュニティや他の地域団体等との連携を深め、地域が一体となった防災力・防犯力の向上に向けた活動や訓練を支援します。また、防災研修室などを活用し、地域の防災リーダーの育成に努めます。



防災福祉コミュニティの訓練

●情報発信・情報共有の強化

関係行政機関と連携して、振り込め詐欺などの犯罪の防止や食の安全などのタイムリーな情報発信、情報共有の強化を図ります。

●灘・安全安心ネットワークの推進

安全安心なまちづくりに向けて取り組んでいる地域団体や事業者と、学校、警察、関係行政機関が連携を図り、地域全体で安全安心なまちづくりを推進する体制を強化します。



なだ・安全安心ボランティアの集い

●灘・防犯みはり運動の推進

地域の住民自らが、一日数回屋外に出て周囲を見まわすことで犯罪の抑止につながる「灘・防犯みはり運動」を引き続き区内全域で推進します。また、地域や学生、企業等が行う防犯パトロール活動や死角の点検などを支援します。

●声かけ運動・あいさつ運動の推進

区内全ての小学校で取り組まれている「子ども見守り活動」を兼ねた声かけ運動・あいさつ運動を引き続き推進することにより、犯罪の防止につなげます。



小学生登下校時の見守り活動

●「灘・地域ぐるぐるパトロール」の拡充

地域で仕事をされている電気・水道・ガスのメーター検針員や、新聞・郵便・飲料の配達員などの協力を得て、勤務中に不審人物や不審車を発見したときの110番通報や、子ども、高齢者などから助けを求められたときの速やかな救護活動などに取り組む「灘・地域ぐるぐるパトロール」を引き続き推進するとともに、協力者の拡大を図ります。



灘・地域ぐるぐるパトロール

●子ども等への実感できる防災教育

若い世代に命の大切さや災害への備えの必要性を伝える機会として、区内の小学4年生全員を対象としたファイアー・アドベンチャー（防災体験学習）などの取り組みを継続して実施するとともに、防災福祉コミュニティ・小学校・消防署の連携による防災福祉コミュニティスクール事業を実施します。また、修学旅行生の地域での受け入れなど、震災の教訓の発信と伝承に努めていきます。



ファイアー・アドベンチャー

●コミュニティ施設の活用

災害発生時に避難所や地域の活動拠点となる学校や地域福祉センター、地域集会所などでの日常からの地域活動を活性化させ、住民に親しんでもらうことで、災害時の施設利用や住民間の連携・連絡を円滑に行います。

■安全で安心な環境づくりを進めます

●区長との安全点検の継続実施

区長と地域住民が一緒にまちを歩いて段差や危険箇所などの点検をおこないます。整備・改修が必要な場所については、地域住民の意見を参考に、よりよい改修等を行い、誰にとっても安全で住みよいまちづくりを進めます。



区長とのまち歩きによる安全点検

●レッドパトロールの実施

地域における放火等の事案減少や市民の安全・安心の確保を図るため、署外出務時や災害出動後の帰署途上に消防車両の赤色灯を点灯することにより、市民の不安感の解消を図り、地域の安全・安心に取り組めます。

●犯罪の発生しにくい環境づくり

暗い場所での街路灯の照度アップ（20W→32W）や、道路・公園などの公共空間の樹木剪定、民間における門灯の夜間常時点灯の促進など、犯罪の発生しにくい環境づくりを行います。

●灘・安全安心セキュリティセンターの活用

地域の安全・安心活動に取り組む様々な団体・グループの情報交換、交流の拠点である「灘・安全安心セキュリティセンター」を活用し、常設展・企画展の開催や、併設する「安全安心文庫」における情報発信に取り組めます。

●「なだ・防犯ナビ」の拡充

区内で発生した犯罪・事件や、地域の安全安心の取り組み情報をホームページで発信する「なだ・防犯ナビ」の拡充を図り、区民への正確かつスピーディーな防犯情報の提供と地域の防犯への取り組みなどの紹介を行います。

●市民救急体制の推進

応急手当法やAED使用方法などをマスターした市民救命士の拡大を図るとともに、AEDを配備した「まちかど救急ステーション」の推進などに引き続き取り組むことにより、市民救急体制の充実を図り、地域主体の安全で安心なまちづくりを目指します。



消防団での講習会

●災害情報伝達システムの整備・拡充

防災行政無線やホームページ、マスコミの協力など多様な手段を活用し、災害発生時の区民等への効率的・効果的な情報伝達システムの整備・拡充を図っていきます。また、防災福祉コミュニティを中心とした防災訓練や安全マップの整備・更新など、災害に備えるための実践的な取り組みを支援します。

●災害時要援護者への支援

高齢者や障害者、外国人などの、災害時に情報の入手・判断・行動が困難となる災害時要援護者に配慮した情報提供、施設の確保、支援策について、関係機関と連携しながら検討を進めます。

●すまいの安全対策の推進

今後、発生が予想されている東南海・南海地震などの地震に備えるため、地域住民団体などとともに戸別訪問を実施するなど、神戸市の無料耐震診断の受診を呼びかけます。また、住宅用防災機器の設置に向けた普及・啓発や住宅火災の危険性と予防対策の情報を発信するなど、すまいの安全対策を推進します。



地域団体による耐震化無料診断の戸別訪問案内
(ピンポン作戦)

●河川の安全啓発活動の推進

都賀川等の親水河川での増水事故を未然に防ぐため、流域の地域団体や協力事業所、警察署、消防署等と連携して、河川の安全啓発や見守り活動に継続して取り組みます。



河川の安全見守り活動

●新型インフルエンザへの対応

学校・施設・企業・医療機関との連携強化を図り、新型インフルエンザなどの感染症発生サインを的確に把握し、迅速に対応することにより、社会機能の維持を図るとともに、地域における感染症の急激な拡大と重症化の防止を目指します。

●交通安全対策の推進

灘警察署、灘交通安全協会、灘自家用自動車協会などと連携し、飲酒運転の根絶・早めのライト点灯・シートベルトの着用などを呼びかけるほか、自転車利用者に対し交通ルール・運転マナーの向上を呼びかけるなど、啓発キャンペーンを引き続き行うことにより、交通安全対策の推進を図ります。また、地域団体と連携して高齢者や子どもなどへの交通ルールの遵守をよびかけます。



交通事故防止運動による啓発

3. 「思いやり」

- 生活マナーを守る 気持ちよく暮らせるまちづくり -

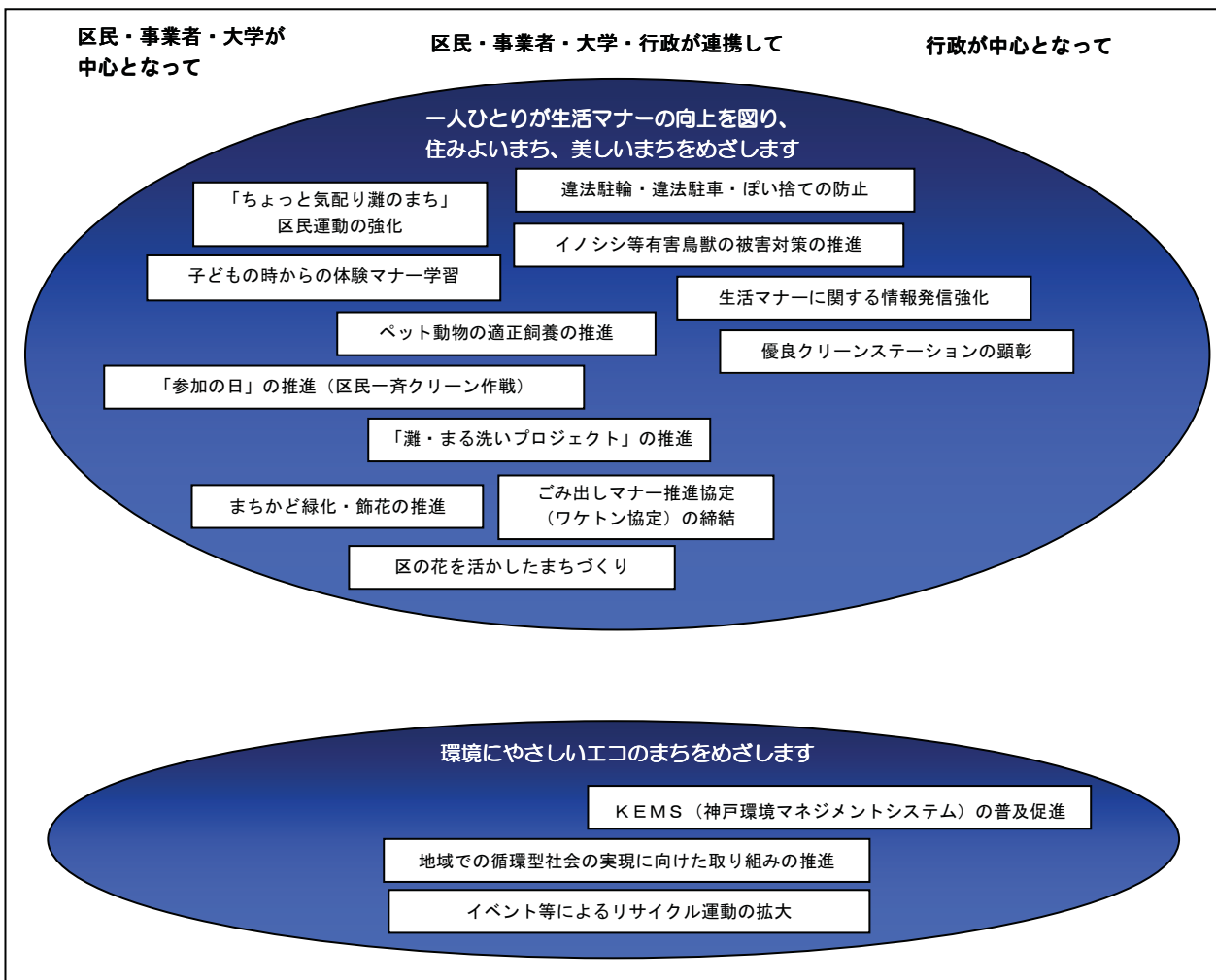
<基本認識>

地域では、ごみの不法投棄、違法駐車・駐輪、犬・猫等の飼育マナーなど、いわゆる生活マナーの低下が依然として住みよいまちづくりにとっての切実な問題となっています。灘区では、平成8年10月より、まち・ひとに優しい地域づくり「ちょっと気配り灘のまち」区民運動に取り組んできましたが、生活マナー向上は個人や行政だけでは解決できず、地域全体の問題として取り組んでいかなければならないという区民の意識が高まっています。

<基本方針>

区民一人ひとりが、まちを想い、人の心を思いやる「ちょっと気配り灘のまち」区民運動をさらに推進し、生活マナーの向上による「住みよいまち・なだ」そして「美しいまち・なだ」を目指すことにより、まち全体のホスピタリティ（おもてなしの心）の向上を図ります。また、環境にやさしいエコのまちづくりに取り組みます。

<役割分担>



＜重点施策・事業＞

■一人ひとりが生活マナーの向上を図り、住みよいまち、美しいまちをめざします

●「ちょっと気配り灘のまち」区民運動の強化

区民運動の趣旨やその取り組みなども紹介し、今後啓発活動を強化するとともに、事業者等も含めた参加者や活動の拡大を図ります。



摩耶山クリーンハイキングでの清掃活動

●生活マナーに関する情報発信強化

ごみ出しマナーや不法投棄の他、違法駐輪・違法駐車、ペットの飼育、野生鳥獣への迷惑なえさやり、植木鉢等の道路へのはみ出し、空地管理等のあらゆる生活マナーの問題について、その啓発を行うとともに、地域での取組みにより解決した事例等を情報発信し、他の地域でも参考にできるようにします。

●子どもの時からの体験マナー学習

区内の小学4年生全員を対象にごみの出し方ルール等を学ぶ体験型の環境学習プログラム「ふれあいごみスクール」を継続して実施します。また子ども向けエチケット講座などにより、子どもの時から家庭や地域の中でマナーについて考えたり体験したりできる機会を増やします。



小学生等による「ワケトンサポーター」の活動

●ごみ出しマナー推進協定（ワケトン協定）の締結

分別・排出マナーの徹底、不法投棄の防止に取り組んでいる地域と「ワケトン協定」を締結し、地域と一緒にごみ出しマナーの向上に取り組めます。地域全体での分別・排出マナー向上の取り組みや、活動のリーダー役である「エコ指導員」の発掘・育成を支援します。

●優良クリーンステーションの顕彰

ごみの分別・排出ルールが守られ、常に美しく保たれているクリーンステーションを顕彰することにより、地域住民によるルールの徹底、まちの美化への取り組みを推進していきます。

●「参加の日」の推進（区民一斉クリーン作戦）

区民が一斉に区内全域で清掃活動を展開する参加の日（毎月第3火曜日）の活動の一層の拡大を図ります。



区民一斉クリーン作戦（参加の日）

●違法駐輪・違法駐車・ばい捨ての防止

違法駐輪や違法駐車、タバコなどのばい捨て・路上喫煙の防止など、公共マナー・モラルの向上について、区民・事業者及び警察等関係行政機関が連携して取り組みます。特に、違法駐輪に対しては、地域でのイエローカードを使った啓発活動等を支援していくとともに、事業者との連携の強化を図ります。



違法駐輪へのイエローカードによる啓発活動

●ペット動物の適正飼養の推進

犬や猫の飼い主のマナー向上や飼い方の啓発を展開します。あわせて飼い主のいない猫への地域の取り組みである「地域猫活動」を支援します。また動物愛護精神を高めるとともに、正しいマナーの理解に努めます。



地域猫の写真展

●まちかど緑化・飾花の推進

まちかどにある空地进行緑化・飾花するなど、地域住民が主体となって取り組むまちなみの美緑花活動を支援します。



市民花壇コンクール

●区の花を活かしたまちづくり

区内の公園・広場に区の花「マリーゴールド」の植栽を進めるほか、区の歴史の花「菜の花」を都賀川沿いに植え「菜の花のみち」として整備します。また、各家庭でも区の花を飾花するなど、協働で花が満ちあふれ、うるおいと魅力あるまちづくりを進めます。



灘浜緑地の菜の花

●「灘・まる洗いプロジェクト」の推進

学生主体の実行委員会と行政が連携して、区民を中心とした参加者を募ることにより、区内の公共施設の汚れを落とす清掃活動を継続して進めます。あわせて学生と地域との交流や住民同士の交流の場にもしていきます。



「灘・まる洗いプロジェクト」による清掃活動

●イノシシ等有害鳥獣の被害対策の推進

イノシシやアライグマ等の有害鳥獣による生活環境や人身被害の防止に向けた啓発活動や駆除活動を強化し、地域住民と協働による対策を推進します。

■環境にやさしいエコのまちをめざします

●地域での循環型社会の実現に向けた取り組みの推進

地域でゴミの減量やエコ活動、3R推進運動(発生抑制・再利用・再生利用)などに取り組んでいる団体について、その活動を情報発信等により支援すること等により、家庭・地域でのCO₂排出量の削減や循環型社会の実現に向けた取り組みを推進します。

●イベント等によるリサイクル運動の拡大

なだ桜まつりやふれあい秋まつりで実施している神戸大学の環境サークル「エコロ」のリサイクル活動や灘中央地区でのフリーマーケットなどのエコタウン活動を引き続き支援し、活動行事の拡大に努めます。

また、旧区庁舎内の「リサイクル工房」において、リサイクル運動の啓発に努めます。



「なだ桜まつり」でのリサイクル啓発ブース

●KEMS（神戸環境マネジメントシステム）の普及促進

灘区内事業所及び区民に対して、環境への影響負荷低減のための取り組みの必要性や具体的な取り組み等を紹介することにより、KEMSを取得する事業者の拡大や環境改善活動の促進を図ります。

4. 「はぐくみ」

- 子ども達を健やかにはぐくむまちづくり -

<基本認識>

灘区は出生率が全市平均より高く、区民は子どもや青少年を地域で支援していこうという高い意識をもっています。

地域における子育て環境は、核家族化や急速な少子高齢化の進行などで家庭機能が低下し子育てに悩む保護者が増えるなど、これまで以上に地域全体で子育てを支援していくことが求められています。

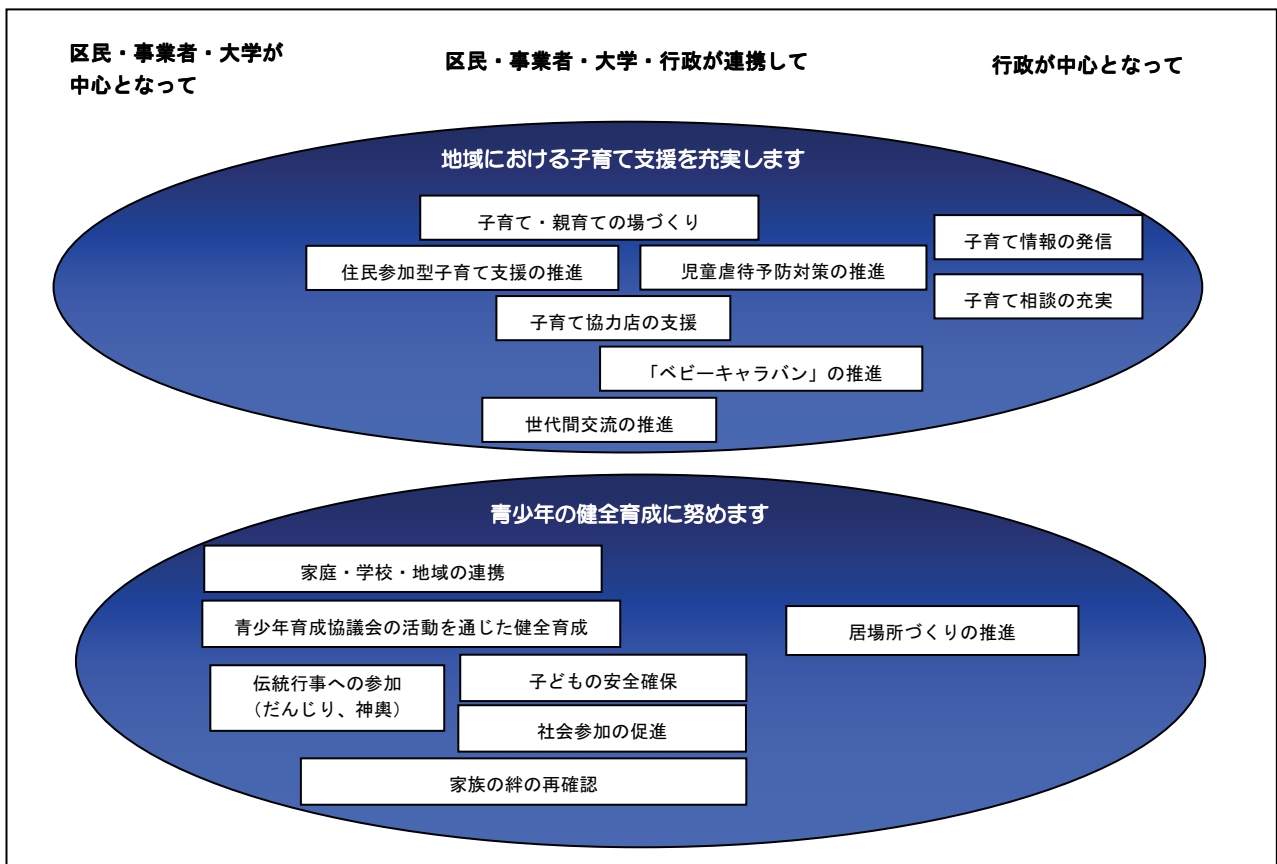
また、青少年の健全な成長を支えるために、引き続き家庭・学校・地域の連携を深め、青少年を地域で見守る体制づくりに取り組むことが必要です。

<基本方針>

安心して子どもを生子、育てることができる「子育てが楽しくなるまちづくり」をめざし、子育ての不安や悩みを軽減するとともに、保護者の仲間づくりを進めるなど、地域と連携した子育て支援を展開し、あわせて児童虐待の未然防止に取り組みます。

また、青少年が地域に愛着をもって健全に成長していけるよう家庭・学校・地域が連携して、社会体験学習や伝統行事などへの青少年の参加を支援していきます。

<役割分担>



＜重点施策・事業＞

■地域における子育て支援を充実します

●子育て・親育ての場づくり

育児の孤立化を防ぎ、子育て中の親子の交流を深めるため、児童館や地域福祉センターなど区民の身近な施設や区役所で、キッズクラブなど親子が自由に過ごせる場を拡充し、保護者の仲間づくりを進めます。



キッズクラブ

●児童虐待予防対策の推進

虐待の予防と早期発見に向けて、区医師会や区民生委員児童委員協議会、地域団体など関係機関で構成するネットワーク会議で総合的に対応を行うほか、実務者による検討会を随時開催するなど連携を強化し、地域全体で子どもを見守る取り組みを進めます。

●住民参加型子育て支援の推進

子育てボランティアを育成するほか、子育ての現状や施策について地域団体への情報提供や研修を通して、地域の子育て支援意識を高め、区民の子育て力の充実を図ります。

●子育て協力店の支援

乳幼児をもつ保護者が気軽に安心して利用できる「子ども連れ歓迎」の店を「子育て協力店」として認定し、子育てしやすい環境づくりを進めます。



子育て協力店の認定ステッカー

●「ベビーキャラバン」の推進

地域に出向いて子育てボランティアと親子を結びつ場（ベビーキャラバン）を提供し、地域での子育て仲間づくりの支援・育児相談を行い、地域住民の参加を得た子育てを促進します。



ベビーキャラバン

●子育て相談の充実

妊娠・出産・子育て期を通して保健師による面接・訪問・電話など、保護者が気軽に相談できる機会を増やすとともに、育てにくい子どもの相談・対応指導や、専門家による個別カウンセリングを実施するなど、子育て不安の軽減に努めます。

●子育て情報の発信

子育てに関する情報を、母子健康手帳交付時や新生児訪問指導、乳幼児健診時などさまざまな機会を通じて発信するほか、広報紙や難区HP内「子育て育児支援サイト」の拡充を図ります。

●世代間交流の推進

地域福祉センターや児童館を利用して高齢者と乳幼児・学童との地域での世代間交流を図ります。また、区内の学校と連携した子育て体験学習等を通して、次世代の親育ちを支援します。



地域福祉センター等を利用したふれあいのまちづくり協議会と児童との交流事業

●青少年育成協議会の活動を通じた健全育成

青少年育成協議会は地域団体と協力して、家庭への啓発活動・有害環境浄化活動・地域ぐるみの健全育成活動・非行防止活動などに取り組んでいます。

今後もあいさつ運動や地域内の巡回活動「愛のひと声運動」、「こども110番 青少年を守る店・守る家との協力」など、地域全体で青少年の健全育成を見守ります。



「こども110番 青少年を守る店・家」のロゴマーク

■青少年の健全育成に努めます

●家庭・学校・地域の連携

青少年育成協議会やふれあいのまちづくり協議会、学校支援地域本部事業などにより、家庭・学校・地域の連携の取組みが行われています。

青少年の地域とのつながりを一層強化し、地域社会で青少年の健全育成に取り組んでいけるよう、地域団体の活動情報や地域イベントの発信、「都賀川子どもフォーラム」などの学習発表の機会の創出など、子ども会や大学等も含めた仕組みづくりを支援します。



「うえのプロジェクト」によるキャリア教育サポート

●子どもの安全確保

学校における安全教育を徹底するとともに、学校・家庭・地域・行政が連携して、地域における「こども見守り活動」などの声かけ・あいさつ運動を推進し、さらに「なだ・防犯ナビ」等を活用した安全情報（不審者や犯罪発生情報など）の共有化を進めます。



「なだ・防犯ナビ」による安全情報の提供

●居場所づくりの推進

学校・公共施設などを利用して青少年が自由に交流できる居場所づくりを行います。

また、青少年が主体的に活動・発表を行い、異なる世代とも自由に交流できる地域のスポーツ・文化行事等を支援します。



ユースステーション灘

●家族のきずなの再確認

青少年育成協議会やふれあいのまちづくり協議会などの地域団体と連携し、家族のきずなについて考え、また、家族が一緒に出かけ、ふれあえる機会を創出します。



家族での参加イベント「摩耶山ファミリーアドベンチャー」

●社会参加の促進

地域福祉センターなどで児童・青少年と高齢者との交流機会を提供するほか、地域での清掃活動・防災活動への参加を呼びかけ、社会参加を促進していきます。

また、公立中学の2年生を対象に行う5日間の社会体験学習「トライやる・ウィーク」を引き続き支援していきます。

●伝統行事への参加（だんじり、獅子舞）

伝統行事への参加を通じて、青少年が地域への愛着や地域とのつながりを感じられる機会を支援し、また、「地域全体での青少年の育成」を行います。



灘のだんじり祭り

5. 「やさしさ」

- 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり -

<基本認識>

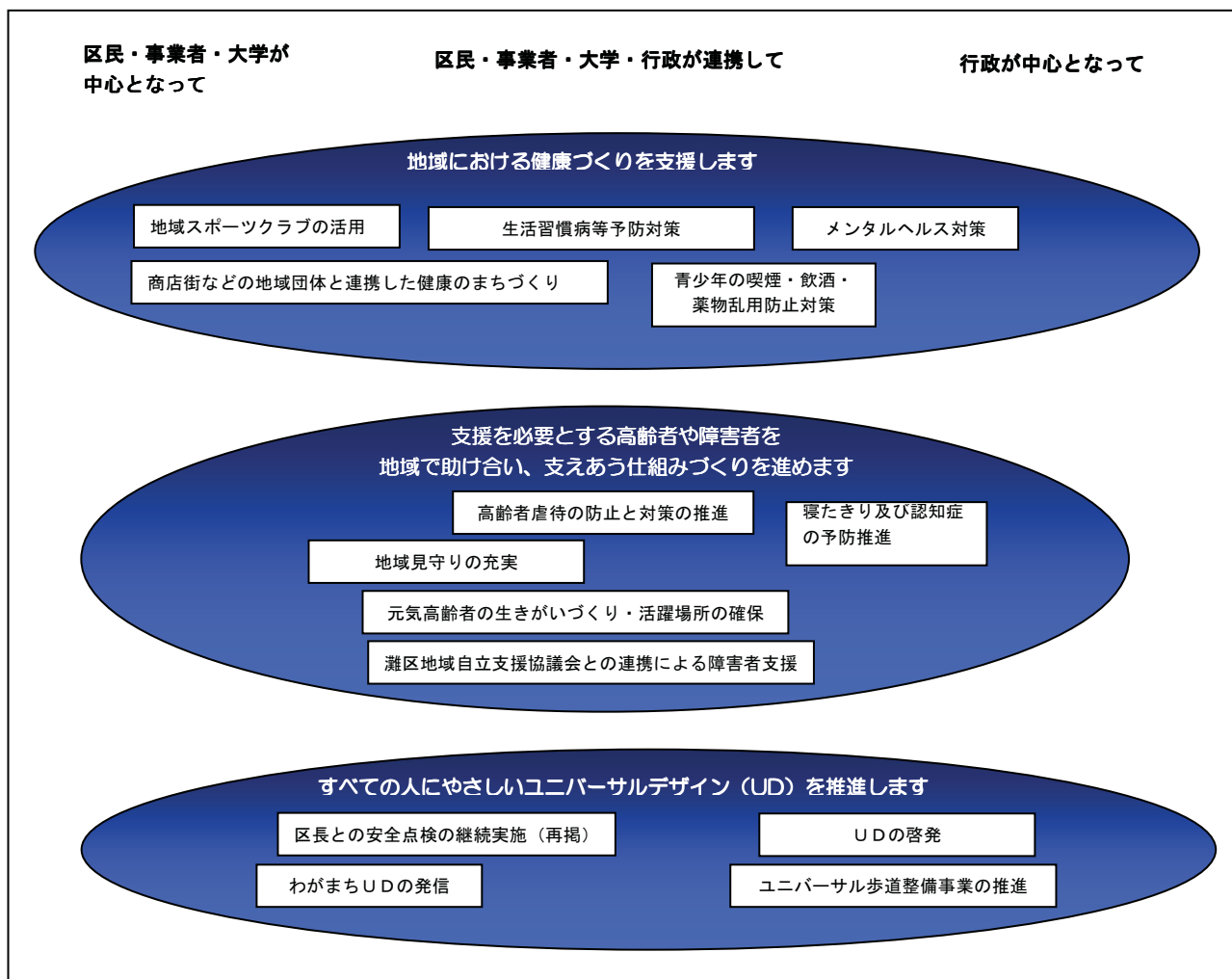
少子高齢化の急速な進行、ライフスタイルの多様化など社会が大きく変化するなか、誰もが健康で安心して暮らせる社会を築くためには、区民一人ひとりが健康づくりへの関心を高めるとともに、すべての人が住みなれた地域で安心して暮らしていけるまちづくりが求められています。

<基本方針>

区民一人ひとりが健康であるためには、生涯を通じた健康づくりが必要です。「新・健康こうべ21」の理念に基づき、予防を重視し、個人の健康観により、一人ひとりが主体的に取り組めるように、区民との協働による健康づくりの支援活動に取り組みます。

また、高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域で助け合い、支えあう仕組みづくりを進め、すべての人にとって暮らしやすいユニバーサルデザイン（UD）のまちづくりを推進します。

<役割分担>



<重点施策・事業>

■地域における健康づくりを支援します

●生活習慣病等予防対策

死亡原因の6割を占めるがん、心疾患、脳血管疾患の生活習慣病等に対し、生活習慣の改善により予防効果が期待できるメタボリックシンドロームやがん予防の啓発、健康教育の実施、体力づくり支援に取り組みます。

特に予防的な取り組みが必要な子育て世代を対象にメタボリックシンドローム予防啓発事業を実施し、5つの生活習慣メッセージ（運動・食事・禁煙・睡眠・健診）の分かりやすい発信に努めます。

また健康づくり介護予防リーダー（元気！夢づくり隊）を育成し、自主グループへの育成と継続支援を目指します。



「メタボ予防戦隊 灘レンジャー」による生活習慣病の予防啓発活動

●地域スポーツクラブの活用

すべての区民が、身近に様々なスポーツに親しむことができるよう、引き続き小学校区ごとに活動する地域スポーツクラブを紹介し、その活用を推進します。

●メンタルヘルス対策

こころの不安定（不健康）が原因となるさまざまな病気を予防するため、講演会などを通じて啓発し、こころの健康づくりを支援します。

●青少年の喫煙・飲酒・薬物乱用防止対策

青少年のこころとからだの健康を守るため、区内の小中高等学校・大学などと連携し、児童・生徒・学生やその保護者に対して喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発を行います。

●商店街などの地域団体と連携した健康のまちづくり

事業者やまちづくり協議会などの地域団体と連携し、水道筋地域を中心にアメリカンフットボールやウォーキングなども活かした健康づくりのための活動と食や健康の情報発信を推進し、健康のまちづくりを支援します。



水道筋商店街と関西学生アメリカンフットボール連盟による王子プロジェクト

■支援を必要とする高齢者や障害者を地域で助け合い、支えあう仕組みづくりを進めます

●地域見守りの充実

従来実施してきた地域コミュニティが十分でない復興住宅等への見守り推進員の個別訪問（公的見守り）に加え、民生委員児童委員、友愛訪問グループ、その他の地域団体と連携し、地域一体となった「見守り体制」の充実を図ります。

同時に、より身近な地域で参加できる行事（コミュニティ支援）の推進に努めます。



ふれあい給食会

●高齢者虐待の防止と対策の推進

高齢者に関わる人々のネットワークを活用し、高齢者虐待の早期発見・早期対応を目指します。

また、地域住民や事業者を対象にした高齢者虐待に関する講演会を開催し、啓発及び支援者の援助技術の向上を図り、高齢者虐待の防止に努めます。

●寝たきり及び認知症の予防推進

高齢者が自立した日常生活を地域で続けていけるよう、寝たきり及び認知症の予防に向けた介護予防事業を推進します。

また、介護予防事業へ参加しやすい環境づくり、魅力ある介護予防事業の提供を通じて、地域住民の関心を高め参加者増加を目指します。

●元気高齢者の生きがいづくり・活躍場所の確保

高齢者の知恵と経験を地域に活かしてもらえるように、地域福祉センターや学校・施設などの活動の中で、元気な高齢者が生きがいをもって活動し、能力を発揮できる活躍の場の創出に努めます。



「老人スポーツの日」での老人クラブと幼稚園児との交流

●灘区地域自立支援協議会との連携による障害者支援

障害者自立支援法に基づき区内障害者福祉関係機関で設立された灘区地域自立支援協議会の障害の垣根を越えたネットワークを活用し、「学習」「障害別」「就労作業」の各作業部会でテーマを設け、様々な角度から検討・協議を行い、障害者支援の推進に努めます。



灘区地域自立支援協議会との連携による「みんなでつくる共生社会展」（灘区役所内における販売所）

■すべての人にやさしいユニバーサルデザイン（UD）を推進します

●区長との安全点検の継続実施（再掲）

*本項に関しては、12ページを参照。

●UDの啓発

UDの考え方を取り入れた施設（灘区庁舎など）を教材にした見学会を開催するなど、UDに対する知識と理解を深めてもらうきっかけづくりに努めます。

●ユニバーサル歩道整備事業の推進

UDの視点から、誰もが安心して歩ける歩道にするため、段差解消や波打ち歩道の解消に取り組みます。



整備前



整備後

ユニバーサル歩道整備事業

●わがまちUDの発信

ふれあいのまちづくり協議会が中心となり、小学校・PTAなどと協力して地域のUDについて考え、「UD」の視点からまちを考え、「UD取り組み宣言」などで発信しあう取り組みを行います。



UDに関するワークショップ

*ユニバーサルデザイン（UD）

年齢、性別、文化、身体状況など、人々が持つ様々な個性や違いを越えて、一人ひとりが互いに多様性を認めあい、はじめから、だれもが利用しやすいように、まちや建物、製品、環境、サービスづくりを行っていかうとする考え方。

6. 「やすらぎ」

- 豊かな自然と歴史・文化を生かしたまちづくり -

<基本認識>

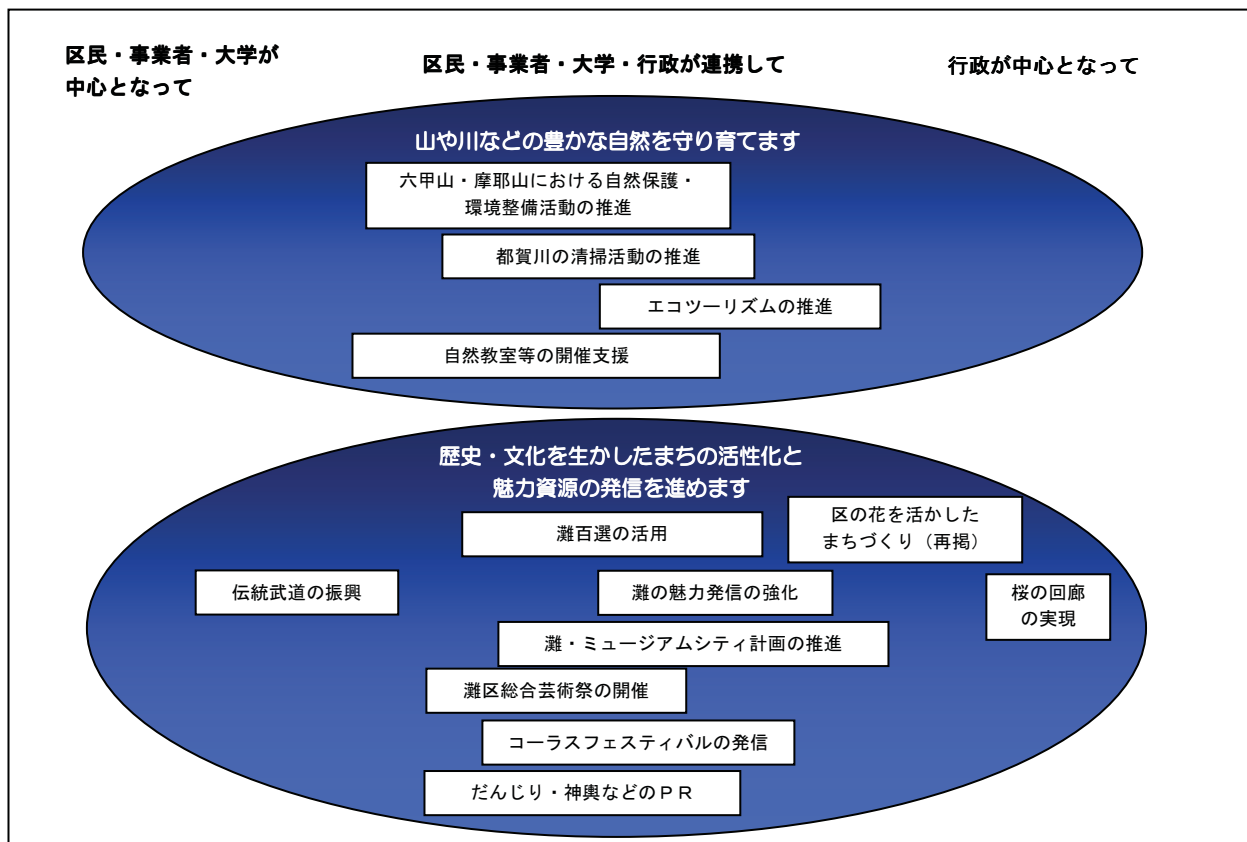
灘百選に代表されるように、灘区は古墳や神社・仏閣などの史跡、西郷の酒蔵地域、だんじり祭りなど、歴史と文化に彩られた数多くの魅力資源に比べ、六甲山・摩耶山や都賀川、桜のトンネルなどの豊かな自然を、身近に触れられることが大きな魅力となっています。

これら灘区特有の魅力資源を有効に活用し、区民にとっては住み続けたい「わがまち」として、また、区外の人にとっては訪れてみたくなるまちとして、まちづくりを進める必要があります。

<基本方針>

「灘百選」を中心に、自然・歴史・文化を通じた灘区の魅力資源を有効に活用しながら、新たなまちの個性「灘区らしさ」を創出し、これらの魅力資源を区内外に広く発信することを通じて、まちの活性化や区民の交流を図るとともに、観光資源として活用するなど、“なだ”の魅力を高めていきます。

<役割分担>



<重点施策・事業>

■山や川などの豊かな自然を守り育てます

●六甲山・摩耶山における自然保護・環境整備活動の推進

摩耶山を守ろう会などの地域団体とともに、六甲山・摩耶山における植樹・緑化活動や清掃・美化活動などの自然保護・環境整備活動を引き続き推進し、緑豊かな自然を守り育てていきます。

●エコツーリズムの推進

豊かな自然の楽しみ方や歴史・文化を発見できるエコツアーをはじめ、山上の各施設における体験プログラムなど、多彩なイベントを区内外にPRし、多くの人に年間を通じて六甲山・摩耶山の自然に親しんでもらうことをめざします。また、公共交通機関の利用を促進し、自然環境との共生を図ります。

●都賀川の清掃活動の推進

都賀川を守ろう会などの地域団体とともに、都賀川の清掃活動を引き続き推進し、自然豊かな都賀川を守り育てていきます。



「都賀川を守ろう会」による清掃活動

●自然教室等の開催支援

都賀川の自然や生態、川への地域の人の取り組みの歴史、川の安全な楽しみ方を教材とする学習や自然教室の開催を支援します。また、学んだ成果を発表する場である「都賀川子どもフォーラム」の開催を支援します。



都賀川子どもフォーラム

■歴史・文化を生かしたまちの活性化と魅力資源の発信を進めます

●灘百選の活用

地域の魅力資源である灘百選を活かしたまちづくりを進めるため、灘百選の会と連携し、灘百選をテーマごとに幅広い視点から学び、体験する地域学講座を開催するほか、灘の魅力資源や歴史的資料を記録保存する灘・アーカイブスの整備に取り組みます。

また、灘百選を題材に、次代を担う子どもたちに、地域の歴史や文化を継承し、地域に対する愛着を高めてもらうための場を設け、世代間・地域間の交流を促進します。



灘百選の会による灘区の魅力発見講座「灘大学」

●灘の魅力発信の強化

区役所内の「観光情報コーナー」や区内の各地域福祉センター、市場・商店街の空き店舗などを活用し、区内の観光スポットや代表的なイベントのほか、灘の名産・特産などの魅力資源をPRするとともに、区内外に情報発信してくれる区民や学生に、灘メッセンジャーとしての意識をもってもらうことにより、観光客の誘致を図ります。

●灘・ミュージアムシティ計画の推進

灘区全体を地域博物館として捉えて、まちの魅力やこれまでのまちづくりの取り組み、成果などを紹介・発信し、住民同士の交流を深めるとともに、自然・歴史・人の魅力を再認識することにより、区民のわがまち意識の向上を図ります。都賀川・だんじり・摩耶古道といったテーマ別ミュージアムにおける展示や、語り部（なだ人だな）による魅力発信を引き続き推進します。



だんじりミュージアム



●灘区総合芸術祭の開催

芸術・文化活動に取り組む地域団体や中学校・高等学校・大学などの参画を得て、日頃の取り組みや成果を発表する総合芸術祭を開催することにより、「芸術・文化の薫るまち・灘」を推進します。

●コーラスフェスティバルの発信

灘区はコーラスの宝庫で、全国レベルの団体が数多く活動しています。コーラスを灘区の文化として育成・継承し、区民や来訪者に、音の文化に触れる機会を幅広く提供していきます。



灘区コーラスフェスティバル

●伝統武道の振興

市内で唯一、弓道・柔道・剣道の三武道場がそろった灘区の特徴を活かした「灘区民武道祭」を継続して実施します。日本古来の伝統武道を身近に体験してもらうことで、武道に親しみ、心身を鍛え、スポーツ・文化両面から区民の交流を深めていきます。



灘区民弓道祭り

●だんじり・神輿などのPR

灘区にはだんじり、獅子舞、神輿といった伝統行事が伝えられています。これらの貴重な伝統文化の保存と次世代への継承を進めるとともに、より多くの人に参加してもらえるよう広報し、観光資源としても幅広くPRしていきます。



敏馬神社の秋祭り

●区の花を活かしたまちづくり（再掲）

*本項に関しては、16ページを参照。

●桜の回廊の実現

区内には王子公園や桜のトンネルなど、桜の名所がたくさんあることから、灘区の木が「桜」に選定されています。それらの名所を結ぶ路線に桜の植樹を図り、連続した魅力ある「桜の回廊」の実現に努めます。



桜のトンネル

7. 「にぎわい」

- にぎわいと活力のあるまちづくり -

<基本認識>

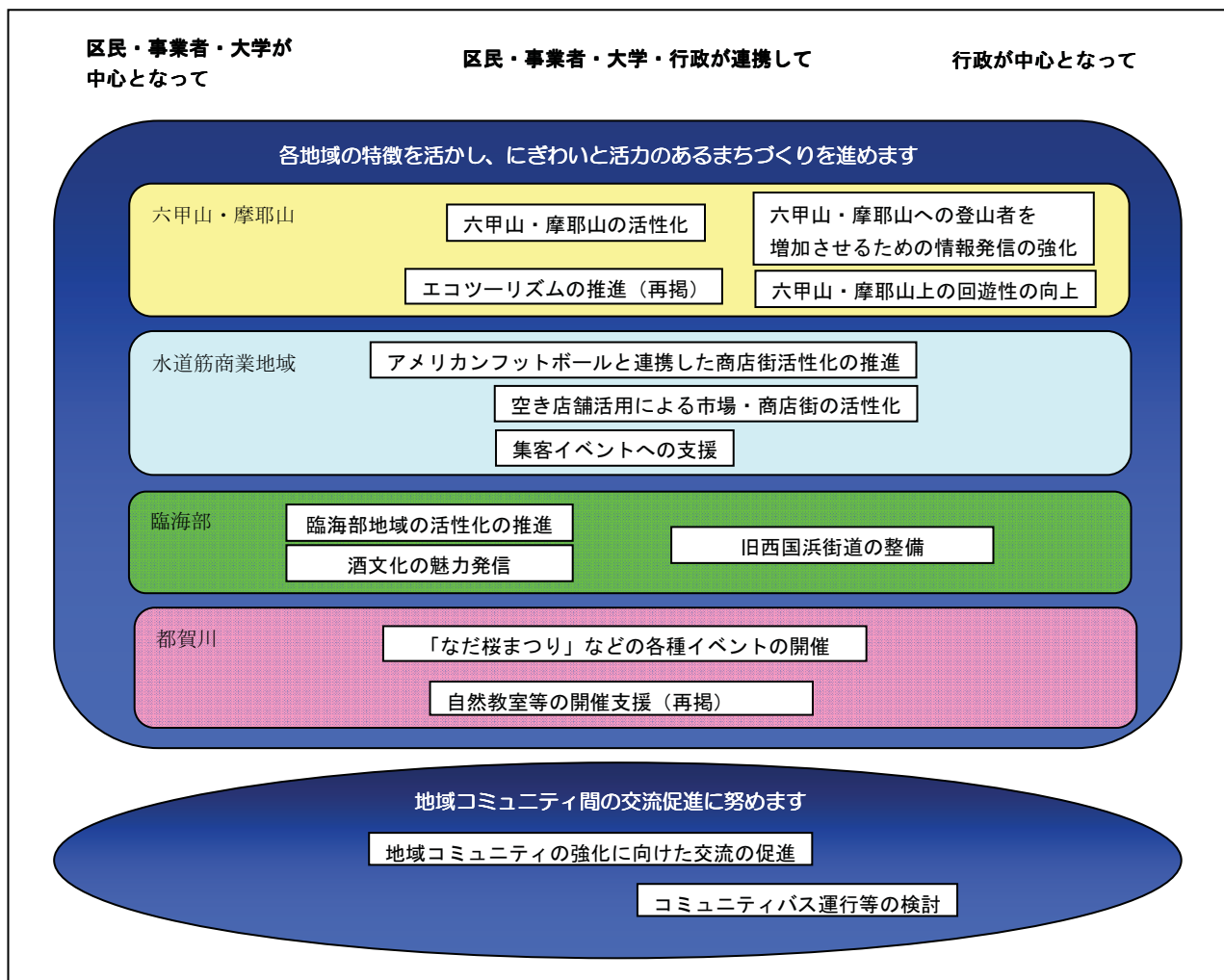
震災や景気の低迷により、区内の市場・商店街、酒造業等の地場産業にとって厳しい状況が続いており、地域のまちづくりとともに、市場・商店街のにぎわいづくりや区内産業の活性化を支援していく必要があります。

また、震災後大きく落ち込んだ六甲山・摩耶山の観光入込客数は、徐々に回復してきましたが、更なる活性化に向けた取り組みを進めていく必要があります。

<基本方針>

地域からにぎわいと活力を発信するために、まちづくりと一体となって、市場・商店街・地場産業や集客観光の活性化の支援に努めます。そのため、健康や自然・歴史をテーマにした地域の活性化と地域住民・事業者・大学等との連携による新しい取り組みによるまちづくりを積極的に進めていきます。

<役割分担>



<重点施策・事業>

■各地域の特徴を活かし、にぎわいと活力のあるまちづくりを進めます

■六甲山・摩耶山

震災後、急激に落ち込んだ六甲・摩耶地区の観光入込客数は徐々に回復してきました。今後、区内外への更なる魅力発信に取り組むことにより、山上一帯の活性化を図ります。

●六甲山・摩耶山の活性化

全国的に有名な夜景のビューポイントとして、掬星台からの魅力を発信します。また、多くの人に訪れてもらえるよう、山上の各施設や大学と連携し、集客イベントを開催するなど、六甲山・摩耶山の活性化を図ります。

●六甲山・摩耶山への登山者を増加させるための情報発信の強化

六甲山・摩耶山を観光だけでなく、日常的に身近な自然にふれあうフィールドとして訪れてもらうために、摩耶古道の紹介など、登山者向けの情報発信を行います。

●六甲山・摩耶山上の回遊性の向上

山上の回遊性の向上を図るため、遊歩道の整備や案内サインの設置を進めます。

●エコツーリズムの推進（再掲）

*本項に関しては、27 ページを参照。



摩耶古道ウォーク

■水道筋商業地域

景気の低迷や商業環境の変化に伴い、市場を中心に空き店舗が増加しています。水道筋界隈のコミュニティの核として、人が集い交流する商業地域の魅力づくりに、地域とともに取り組みます。

●空き店舗活用による市場・商店街の活性化

市場・商店街の空き店舗を活用し、地域情報の受発信の場として、また子育て支援などの地域住民交流の場として整備し、その機能を充実させます。また、大学がもつ高度な知識や学生の若い柔軟な発想で空き店舗を活用するなど、市場・商店街の活性化を図ります。

●アメリカンフットボールと連携した商店街活性化の推進

王子スタジアムを本拠地とする関西アメリカンフットボール連盟と水道筋商店街の連携により、「アメフトのまち・水道筋」を発信する王子プロジェクトを引き続き推進し、アメフトの振興と商店街のにぎわいを創出します。

●集客イベントへの支援

子どもたちを対象とした「水道筋アーケード劇場」やエコタウンの推進を目的とした「まちづくりマーケット」など、住民や商業者などの地域団体が開催している地域活性化を目的とするイベントに対して支援を行います。



水道筋アーケード劇場

■臨海部

震災後の土地利用転換では、産業構造の急激な変化などにより、住宅地に転用されるケースが多く見られます。地域資源を活かしたネットワークを構築し、歴史と酒を活かした地域の活性化に努めます。

●臨海部地域の活性化の推進

地域住民・事業者との協働と参画による「わがまち計画」を策定し、魅力あるまちづくりへの取り組みを推進します。また、「菜の花まつり」などの地域イベントや企業資料館におけるものづくりの伝統や環境・科学を子どもたちに伝える取り組みなどを支援し、その歴史と魅力を区内外に発信します。



菜の花まつり

●旧西国浜街道の整備

歴史的に重要な道であるとともに、臨海部地域の主要な東西道路である「旧西国浜街道」を、安全・安心・快適な道として整備するなど、地域の魅力づくりを進めます。



西国浜街道の整備を検討するワークショップ

●酒文化の魅力発信

地場産業である「灘の酒」及び灘五郷の1つ「西郷」の魅力を発信するため、灘の酒蔵スタンプラリーや酒蔵ループバスの運行など、酒造組合等との連携による取り組みを推進し、観光客の誘致を図ります。

■都賀川

都賀川河川敷に整備された遊歩道は、都賀川に親水性をもたらすとともに、区民の南北交流の重要な動線となっています。都賀川公園を含めたこの貴重な都市空間を区民の憩いの場・健康を育む場・交流の場として、また、子どもたちの環境学習・安全学習の場として活用していきます。

●「なだ桜まつり」などの各種イベントの開催

自然豊かな都賀川を知ってもらうために、春の「なだ桜まつり」や秋の「ふれあい秋まつり」のほか、地域団体による子ども向けイベントなどを引き続き開催することにより、四季を通じて人が集い交流する場として活用します。



なだ桜まつり

●自然教室等の開催支援（再掲）

*本項に関しては、27 ページを参照。

■地域コミュニティ間の交流促進に努めます

●地域コミュニティの強化に向けた交流の促進

各地域団体の取り組みや魅力を発信するイベントの開催などを通じて、HAT 神戸から六甲山までの区内全域において、南北をはじめ地域間の交流を促進します。

●コミュニティバス運行等の検討

区内の南北の連絡動線については、南北バス路線の新設などに取り組んできましたが、今後も引き続き、地域に密着したきめ細かなバス路線網の整備・充実に努めます。また、他地区の状況も調査し、コミュニティバスの運行などの可能性を検討します。



地域交流を目的に毎年場所を変えて行われる「灘・夢ナリエ」

IV. 実現に向けて（進捗状況の検証）

灘区計画を着実に実現させるために、PDCA サイクル*の考え方を取り入れ、定期的にその進捗状況を検証評価し、必要な見直し・改善を行っていきます。

*PDCA サイクル：Plan(計画)→Do(実施)→Check(評価)→Action(改善)→Plan(計画)→……の循環による執行管理の手法

V. 数値目標について

- 数値目標とは、将来像に向けて、具体的な目標となる指標と達成されるべき数値を具体的な数値でわかりやすく示し、取り組みの成果を把握していくためのものです。
- 数値目標は、行政だけの取り組みによるものではなく、区民・地域団体、事業者、大学などと協働で取り組むことにより実現できる目標です。みんなが共有できる具体的な目標のもと、それぞれの主体的な取り組みと、協働と参画を促していくものです。
- 灘区の数値目標としては、それぞれのテーマごとに灘区らしい事業を選定し、目標値を定めています。

テーマ	事業名称	指標	現状 (H21年時点)	H27年目標
「つながり」 ふれあいであらゆる人と人が つながるまちづくり	小学生からの地域活動参加の促進	小学生が家族と参加する地域活動・行事の数	2.4回/年	5回/年
「あんしん」 安全・安心に暮らせるまちづくり	区長との安全点検の実施	安全点検実施累計地区数	7地区	13地区
	すまいの安全対策の推進	耐震化推進戸別訪問事業の累計実施地区数	1地区	6地区
「思いやり」 生活マナーを守る気持ちよく暮らせるまちづくり	ごみ出しマナー推進協定（ワケトン協定）の締結	協定締結累計地区数	0地区	10地区
「はぐくみ」 子ども達を健やかにはぐくむまちづくり	ベビーキャラバンの推進	ベビーキャラバン実施回数	10回/年	15回/年
「やさしさ」 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	生活習慣病等予防対策	灘レンジャーによる啓発事業数	3件/年	12件/年
「やすらぎ」 豊かな自然と歴史・文化を生かしたまちづくり	灘百選を活かしたまちづくり（灘百選の活用）	アーカイブス展の実施回数	4回/年	15回/年
「にぎわい」 にぎわいと活力のあるまちづくり	各地域の特徴を活かした、にぎわいと活力のあるまちづくり	事業者・大学と地域の連携イベントの数	20件/年	30件/年

Ⅵ.参考（検討経緯）

（1）灘区民まちづくり会議での検討

- ①総会 ・ 検討開始：平成 21 年 3 月 23 日
 - ・ 総論部分：平成 21 年 11 月 12 日 ※中間報告
 - ・ 計画素案：平成 22 年 3 月 26 日、8 月 17 日
- ②企画運営委員会での検討（月 1 回開催）

（2）区民参画による検討

- ①「灘区のまちづくりに関する区民アンケート調査」（平成 21 年 1 月実施）
 - 対象者：2,146 人（内訳）・15 歳以上無作為抽出 2,000 人
 - ・ 灘区民まちづくり会議委員 51 人
 - ・ 灘区市政アドバイザー 95 人
 - 回 答：1,000 人（回答率 46.6%）
- ②ワークショップ
 - 全 4 回実施：平成 21 年 6 月 28 日、7 月 20 日、9 月 6 日、10 月 11 日
 - 参加者：各回 25 人程度
 - （公募、企画運営委員会委員、灘百選の会メンバー等）
 - 内 容：これからの灘区づくりのための提言
 - ・ 15 年後の灘区の将来像について
 - ・ これからの灘区づくりのための“おすすめアイデア”について など
- ③これからの灘区のまちづくりを考えるシンポジウム（平成 21 年 8 月 20 日実施）
 - 参加者：約 280 人
 - 内 容：次期灘区計画策定に向けた取組み状況、パネルディスカッション（これからの神戸づくり・灘区づくりの意見、今後の地域活動への抱負等）
- ④区長との懇談会
 - ・ 小・中学校校長会：平成 21 年 12 月 15 日・18 日
- ⑤阪急六甲・JR 六甲道周辺の商業者・大学（学生・教職員）への大学連携等についてのアンケート（平成 21 年 12 月～22 年 1 月実施 回 答：354 人）

（3）灘区選出市議員との意見交換

- ・ 平成 21 年 4 月 30 日、11 月 6 日・9 日
- ・ 平成 22 年 3 月 15 日、8 月 6 日・11 日

（4）庁内検討状況

- ①中期計画 PDCA 会議（灘区関係係長等で構成）での検討（月 1 回開催）
- ②灘区行政総合調整会議（三金会）での重点項目等の意見聴取